# SOLUBLE PEPTIDE ANALOGUES CONTAINING BINDING SITES

Also published as: Publication number: JP5507197 (T) Publication date: 1993-10-21 WO9116437 (A1) Inventor(s): M US6458360 (B1) Applicant(s): EP0528926 (A1) Classification: P0528926 (B1) A61K38/00; A61K39/395; A61P25/00; A61P29/00; A61P37/00; CA2081207 (A1) - international: A61P43/00; A61P7/02; C07K14/00; C07K14/705; C07K16/00; C07K16/18; C07K19/00; C12N15/09; C12N5/10: C12P21/02: AU7876691 (A) C12P21/08; C12R1/91; A61K38/00; A61K39/395; A61P25/00; AT168415 (T) A61P29/00: A61P37/00: A61P43/00: A61P7/00: C07K14/00: C07K14/435; C07K16/00; C07K16/18; C07K19/00; << less C12N15/09; C12N5/10; C12P21/02; C12P21/08; (IPC1-7): A61K37/02; A61K39/395; C07K15/12; C12N15/13; C12N15/62; C12N15/85; C12N5/10; C12P21/02; C12P21/02;

C12P21/08; C12R1/91
- European: C07K14/705; C07K16/18

Application number: JP19910509369T 19910425

Priority number(s): WO1991US02852 19910425; US19900513299 19900425

# Abstract not available for JP 5507197 (T)

Abstract of corresponding document: WO 9116437 (A1)

This invention is directed to a soluble recombinant tused protein which is stable in the mammalian circulatory system comprising a polypeptide which contains a recognition site for a target molecule, such as a complement receptor site, and is joined to the N-terminal end of an immunoglobulin chain. The invention is also directed to a construct comprising a plurality of peptides containing short consensus repeats having a complement binding site attached to a soluble, physiologically compatible, macromolecular carrier. The invention is particularly useful for inhibiting complement activation or complement-dependent cellular activation or complement-dependent cellular activation in mammals.

Data supplied from the espacenet database — Worldwide

⑪日本図特許庁(JP)

00 特許出願公表

@公表特許公報(A)

平5-507197

@公表 平成5年(1993)10月21日

@Int. Cl. \* C 12 P 21/02 滋別記号 ZNA C

庁内整理番号

審 査 請 求 未請求 子做審查請求 有 C 12 N 15/00 5/00

部門(区分) 1(1)

A R\* (全 18 頁)

の発明の名称 結合部位を含む可溶性ペプチド類縁体

> 頤 平3--509369 颐 平3(1991)4月25日

**向間駅文提出日 平4(1992)10月26日** 段国 版 出 版 PCT/US91/02852 の国際公開番号 WO91/16437 @国際公開日 平3(1991)10月31日

優先指主張 @1990年4月25日@米国(US)@513,299

フェアロン, ダグラス・テイー @発明者

アメリカ合衆国メリーランド州21210, パルテイモア, ブライスウ ツド・ロード 3

ザ・ジョーンズ・ホブキンス・ 勿出 順 人

アメリカ合衆国メリーランド州21205, パルテイモア, ラフトラン ド・アペニュー 720

ユニバーシテイ

弁理士 湯洗 恭三 外6名 の代 星 人

AT(広域特許), AU, BE(広域特許), CA, CH(広域特許), DE, DE(広域特許), DK(広域特許), ES の数字 国 (広坡特許),FR(広域特許),GB(広域特許),GR(広域特許),IT(広域特許),JP,KR,LU(広域特 許),NL(広域特許),SE(広域特許),US

長林百に続く

# 経成の範疇

- 1、 軽支動物の荷提系において安定で、他的分子に対する認識部位を含み免疫 グロブリン弦のN末辺に窓がれたポリペプチドからなる、可得性値み換え機合ク
- 2、少なくとも1つの頃が請求項1記載のの可溶性調み換え融合タンパク質で ある抗体分子からなるタンパク質。
- 3、上12ポリペプチドか福休格合物位またはウイルス結合物位の短列に相当す AE別を含む、温水県1記器のケンパク質。
- 4. 上記ポリペプテドが1つまたは塩素の類い共選換返し配子を含んている。 請求項1記数のタンパク質。
- 5。上記試体分子が、軽額または重額の一方がCR 1のC 4 b 統合部位を含む 経路制度を含み、能力がCR1のC3 b結合部位を含む認期間位を含むようなも のである、請求項2記載のタンパク質。
- 6. 上記法体分子がCR1のC4を結合課位とCR1のC3を結合課位の両方 を含む重複からなる環境項2記載のタンパタ質。 7. CR 2の補件結合部位、CR 2のウイルス結合都位、およびS CR 1 から
- SCR2までを含むCR2の経体統合処理からなるグループから返訳される記念 即位を含む、請求項言記載のタンパク賞。 8. CRIの資料物合物は、SCRSからSCRIIまでを含むCRIの経体
- 総合併役、C35総合物位を含むCR1の被体結合領位、およびC46総合部位 €☆むCR [の操体結合部位からなるグループから返択される循体結合部位を含 む、請求項3記載のタンパク質。 9、リーダーペプチドをコードする DNA配列と免疫がロブリン類のN末端を コードするDNA配列との際に、既約分子に対する認識部位を含むポリペプチド
- をコードするDNA医利を挿入することにより、角皮グロブリン証用の発売ベク ターを改変する ; ことを含む、資水項 1 - 8 記載のケンパク質をコードする発展 ベクターの推生地。
- 10、姚塚頂1-6記載のタンパク質をコードするDNA配列を含む発展べる 1-

- 11. 上記タンパク質を発現する請求項10記載のベクターをもつ知れ、 12、免疫グロブリン類のN末端に繋がれたポリペプチド(情ポリペプチドは
- **週的分子の認識部役を含む)が少なくとも一方の数に含まれる抗体分子もしくは** フラグメントからなるケンパク質を分泌する、は状項 1 1 記載の報義。
- 13、継求項11または12記載のお池を培養してタンパク質を習収すること からなる。旅ケンパグ質の性度方法。
- 14。補幹結合物位またはウイルス結合物位を含む効果が位を少なくとも1つ 許つペプチドを含み、そして更に生理学的に適合可能な可能性担保証大分子を更 に含む可溶性保証物(コンストラクト)。
- 15、上記ペプチドが短い共通ほり直し配列を含む、請求項14記録の可治性 コンストラクト・
- 16、服体巨大分子が免疫グロブリン数または原体分子である、環状項14ま たは15記載の可溶性コンストラクト。
- 17. 上記ペプチドがCR 1の福井総合部位およびCR 2の福井総合部位を含 む、請求項14記章の可溶性コンストラクト。
- 18. CR2の場体結合部位、CR2のウイルス結合部位、およびSCR1の 初めから終りまでを含むCR2の場体総合部位からなるグループから選択される **民際部後を含む、鎌水項I 4 記載の可溶性コンストラクト。** ----19. CRIの解除結合制度、SCRBからSCR11までを含むCR1の解
- 券給合物後、CS b結合部位を含むCR Lの操体結合部位、およびC4 b結合体 彼を含むCR 1の競斗路合館位からなるグループから選択される領浄結合部位を 合む、株状項1 4 記憶の可能性コンストラクト。
- 20. 雑成項1-8記載のタンパク質または除求項14-15記載の明確性2 ンストラクトを相気動物へ投与することからなる、抜項気動物における補体体件 性の物物高性化を開止する方法。
- 21、韓求項14~19亿度の可溶性コンストラクトまたは請求項1~8記数 のタンパク賞を、製菓上教容し得るビータル中に含む治療用組成物。
- 2 2、披肩または外皮障者を持った患者に技术項2 1 記載の治療用組成物を決 与することよりなる、等患者の非常方法。

# 特表平5~507197 (2)

# 結合認証を含む可治性ペプチド製器体 、

本権明は、国立政治研究所助政会遵守AI2233及びAI28191によ う意情された態態を受けて成された。合衆国政府は、本発用に対し、一定の復利 を有している。 **本意明は、祖的分子に対する認識部位を含む、可得性組織人数含タンパク質を** 

# 発売の分野

ロめとするものである。

**場を前の高田系には、正確な組成成分はそれらの遺皮同様に時々変化するもの** の、多板にわたる異なる分子が存在している。直接拡張のこの変化は気味のスペ りトルに必答したものであり、血液組成及び薬皮の変化を感知することによって 、哺乳類の後々な器官は刺激に反応することができる。生物体の関節は、器型系 の変化を、血清の様々な製成分子に結合する無限及派レセプターを用いて記算す る。福田系のこれら特定組成成分の、和空楽器レセプターへの結合に生物を及ば

すことで、生物の製造が収集へ反応する仕方に変化をもたらすことが可能である

数均利能に応答して変化し、細胞変弱レセプターへの結合によってその変化が 空知される金液は成成分システムの一折は、媒体システムである。傾体システム は、何えば恐中性のような外来要素を包含するための程度であり、2つの以及を 銀行する: 第一級なは、C3及びC4という二つの補外タンパタ質が、補外指性 **おみかの一句でもスケンパクサルドリネリかへが有なかすることである。2005** 新に出じて、2つの別様の完造のうちの一つが、C3を切断するC3コンベルタ ーゼ (紀代辞录) と呼ばれる経業を領性化して、C3のアルファボリペプチドよ りCSaペプチドを放出させ、C3 b原料に主要な立体構造変化を引き起こす。

第二的技は、リンパ減及び土物的といった様々な前的様による、レセプターを ほかとする複合体への結合である。 福井による奴隷の第二段階では、 C 3及び C

4の共有組合した場所を含む宿合体が、これらの販片に特質的なレセプターを拷 つ初期に結合される。これらのレセプターは媒体レセプター タイプ1 (CR! . CD35), #472 (CR2, CD21), AUF473 (CR3, CD1 1 b/18) と名付けられている。レモブターは、免疫及び炎症反应に関与する 組みな知的種の支援に見い出されている。微生物及びその生成物質に対する食物 数及びリンパ球の反応を調節することによって、C3の指性化が代替系数を選じ て起こる場合、この場体システムの認識プログラムが宿主が抵抗するための主要 な役割を行う。外水分子に対する抗算により連定の系数が開致化された場合には 、補併額片の場合は増収の役割を担う。

2 3、上記タンパク質がCR 2の媒体結合部位またはCR 2のウイルス結合部 位を含み、上記疾病または免疫障害が、不断含な8リンパ球活性化障害、自己抗

体/外及複合体発達疾病、エアシュタイン・パールウイルス発達疾病、および免

政治療料に対する不審合な収集反応が関与する免疫抑制服務からなるグループか

2.4 トリルマバクサ州に見りのは出社の代わる会会、上記を記さたは急力論

者が、生後症状態、重症診断力症、望ましくないまたは不都合な媒体活性化が関

与する処式関係、必定による開答、免疫場合体製造疾病、および神経学的解答か

らなるグループから近訳される、請求項22記載の方法。

6選択される、請求項22配配の方法。

CRIは既に正統にわたって研究されておう、ショート コンセンテス サビ 一ト(SCR)と名付けられている8070アミノ飯の保造モチーフが発見され ている。SCRモチーフは、CRIのアーアロタイプ中では30回タンゲムに経 り返されており、他のアロタイプ中ではさらに何度か扱り返しがある。5CRの 共選配列は全てのSCRで不安であるくつのシステイン、 1 つのグリシン及び 1 つのトリプトファンを含んでいる。他の30個のSCRの半分以上において、更 に 1 8 技革が同じアミノ政あるいは他のアミノ政に保存的に関策されていた形で Chrancos (Mickelein et al., (1937). L. Sec. Sec., 185,1895-1112 , AUS. Pro. Sed., 168: 1899-1717; Searcade, et al. (1988) J. Pro. Art. , 148\_1155-1270) . 各SCRの大きちはおよそ2.5 ~3.0m x 2m x 2m x 2m

様体レセプター タイプ1のSCRモチーフ

ほらられている.

SCR (同じ不真技器を持ち、システイン間の距離が緊促しているもの) のタ ンデムリビートは、解除システムが一つの、さらに18種のタンパク質中で同定 2117115 (Abcars, et al. (1989). Adv. Instend.,45:183-219) . Cit.50 タンパク智は、C3、C4、またはC5、(すなわち、代替または迷れが認のC 3~CSコンベルターゼや財政室復合体のサプユニットである相関な媒体タンパ クガー級)と相互作用する能力をそれぞれ分類している。SCRを含む媒体タン 問題の役割(ファクターH, C4−BP, DAP, MCP, 及びCR1)を持っ

ていたり、全部物変をはリンパ球の存位を引き出すことができる解的レセプター として扱いたり(CR1及びCR2)、あるいは解件チャンネル型放攻撃攻合体 の形成を促進している (C6及びC7) と予想される。建って、5 CRは媒体シ ステムの最も特別的な構造の一つである。 インターロイキンー 2 レセプターアル ファ朝、ベーターミーグリコプロテイン(glycoprotein) 1及びファクターXIII のような媒体ナンパク智見外のものにも写じ見か存在していることが、必ずしも これらのチンパク質が媒体に関与する役割を持つことを示すとは限らないが、し

かし、その可能性は否定されていない。 CRIのN本格から飲えて28番目までのSCRは、4つの一枝さのグループ に分けることができ、それぞれで個の3CRを含み、ロング相関リピート (LH R) と呼ばれ、A. B. C. 及びDで示される。LHR-Dに扱いて、扱り2つ のSCR、そのうしろにCR1を製剤変質にとどめる吹音を持つまちアミノ数の 数支速環境と4.3 アミノ酸の細胞質環境が続いている。 3 販売の場合は合物位は CRIMONIFEMBLICA : I WHITC 4 SEMMONIER - A. 652 開発はC3 bに特別的なLHR-B及びLHR-C内 (klickstate, et al., 19 M. 上記)、なし日内のNAEMから2つのSCRが、リガンド将其状に関与して いる。 操体性性化物質はその変数に複数のC4 6及びC3 6分子を結合すると予 聞きれるため、この多価CR1は、一種のレセプターに比して、それらの分子と より動物的に相関作用することが可能である。

その他の経体レセプター 福体レセプター タイプ2 (CR2, CD21) は、15あるいは18のSC Rでで会た初的外接域、24アミノ般の原質適項域及び34アミノ院の解除質量 紙から成る際官員型リン部化タンパク管である (Neers, et al. (1987), Proc. Sett. Aced. Sci. 153, \$6:3194-3195; Welr. of al. (1938). J. Par. Ned.. 151:10(T-1966、本項知否の参考文献に含まれる)、可提供組役人でRSを電子 野路駅で研究した物景、CR1阿禄、CR2は、計算上級339、6ナノノータ ーX3、2サノメーターの外容を持つ、長い、非常に染軟性に富む分子であり、 そのなかにSCRは2、4ナノメーターの基さの小板として見えることが示され £ (Moore, et al. (1989), J. Siel, Chow., 34:20576-20582) .

短距性機と化学工 CR は銀形板性の金数形の変形するための形すれる。CR 1 のみ、C 3 を立てく 1 ~の時間性に加え、所定から 2 コン・ルター・せる経路性か、 近づすまタードによってこく あなびこもとのペックを対してである。 地域子の変形を含むではっている。さらに、数さくは実際に関係さたとして 、CR 1 のこれらの部位を代替が起こえ、ても加えられいことが呼びられ、こと たの形成的形形はような様の形形によりによってサービスでいる。

ため別知政的的版による部的の印刷に適したセセッターとよっている。 可能性CRI(1 CRI)部件を、設置進度が翻算環境が大夫したくDNA 名所いて、組造人DNA技術により作成した(Peeses, et al., 国際特殊的報 WO 8 3 / 9 9 2 2 0 号、19 8 3 年 10 月 5 日公院、Jelzase, et al., (11点、地の間、18分)、小田のも分割的に定見したペタテー 30 CCア 1 を分配定して報酬したと G 1 3 アッチク (以来、水料面では、G 1 3 ステッチク (以来、水料面では、G 1 3 ステッチク (以来、水料面では、G 1 3 ステッチク (以来、水料面では、G 1 3 ステッチク (以来、G 1 3 ステッチク (

「CEL / 学 85 CEL 1 の意味でも極端報酬をクットをデルビア この に / 学 85 CEL 1 の意味でも極端報酬をクットをデルビア した (地) man, et al., 1986,203。、 CEL / で 85 CEL 1 に、1886 ME ためを他に、現所されて、不可能したの様ではからせればればないだから とう型があれたがた。現在をデリー、などに関かるでは、くに、直対人 で 25 (ド / き 55 CEL 1) 規則会に「28 代 (を)にいて、「1890人」 短路が振り、まで、力型があった。で 形の、本対学化、では充力、 での形成化。元が終めたが、手間があった。 かっている。より物から日本的な私に付きを定っる場所とよって呼ばした。 かっている。より物から日本的な私に付きを定っる場所とよって呼ばした。

特別社会尺 2 類談外の作款が収みられた(Sears, et al. (1933). <u>1. 目前、</u> 1 地点、3所に39年-3942 )、可能性では「ログルテンに最大で、レイデターの面 利用が現は元次との名が、数別数かとが取り間が認まれた。12年のイチェラーよう 、国立人グランルで可能性に尺を作業した。このは私人で見なほこませた 111の形成、大きされ、50つのよべ始らした。しかしなが、、こままに 111の形成、大きされ、50つのよべ始らした。しかしなが、、こままに オイオお他の状況が対するまたが、いかなるお黒での四周の形式で得てわる。

# 核ウェルス面列としての可担性レセプター

全地のウィルス型を包止するために可能性のウィルスレセブターを用いることには、数多くの利金がある。 湯々なウィルスを資本も同一の知道セマアターを 認識しなければならないため、ウィルスのエグラューブタンパクらるいはほの 変型によって全じる状態の例化や手型という問題を担ぎせると子思される。ま のに、初恋レセアターのウィルス部を付属は、民間性、単位まなは免疫的傾向な

投資を終なないようである (Someron, et al. (1990) <u>1. Yitel</u> 殺13日-13 53) 、可用性・セプテーは投資を比ならないため、効果を上げるためにアジュ バントを利用する姿型がなく、さらに変た、気管は完全な免疫系があるかどうか には終しないと予想される。

今よめた日才を刊付款の回転金化セディーとつがもを設すまたただよ べてりかみの総合を組立さまされません。他のくかなる。他な人のおりまた 気になるため、人のものをは、している。サイブー・アックででは、他のは、 板はコープランを呼び返出で除れた。他のか、。は、10回、 とはなっ 20以 ス を記したり、 「和の記では合われた」(他のか、 は、10回、 とはなっ 30以 ス を記したり、 「和の記ではられた」(他のか、 は、10回、 とはなっ 30以 ス を記したり、 は、10回によるの、 は、10回、 とはなっ 30以 ス を記したり、 は、10回によるの、 は、10回、 とはなっ 30以 ス を記したり、 は、10回によるの、 は、10回、 とはなっ 30以 ス ・一切によったり、 10回によったり 10回によった

Deagement (1987、<u>5. km. 198</u>.) 経上1931 (20) もまたハイブリッド状 存在的はして、短距点を経過で不安の投資ではよている影響の即位に対して、分 子の後のな面がらに対ける変化ができたした。この例でできたした。この例でできた。 ウェッジッタ子に対した・マナド記がは、それによって記念されてイナド からた例のしていた。この例では、な、ただアロブ・ブリー語の形は、 中の概念を扱うでは、実施にお加える。て、ただアロブ・ブリー語の形は、 中の概念を扱うでは、実施にお加える。て実施することが示された。

1.200季の特別では、先近がロッドリン・ペーフ・リュー(bed, et al., ib.
50. (et al., et al., ib.
50. (et al., et al., ib.
50. (et al., et al.

2間の返還 本実務の一つの目的は、複約分子に特異的に統合可能な可能性タンパク質で、

- て、他的分子に対してより高い収和性を持つ旅タンパク質を提供することである
- 本党第のさらなる日的は、福体タンパタに対して特異的に多価で結合すること のできる可溶性の確認的を受験することである。
- 本見所のまたもう一つの目的は、血管内から腎臓へよりよく甘散するであろう 小型の構造を持つ可溶性の構造物を提供することである。
- 本発売のさらにもう一つの目的は、細胞脱跡を置めしセプターと動会し、哺乳 展の福里系に保持されると予想される可溶性の構築物を提供することである。 本発列のさらなる目的は、落電系に変差に存在する可溶性の構築物を提示して
- 、他物内の場所によっておこる影響的性化を開催する方法を提供することである。 本現場のさらにもう一つの目的は、報知派に関定であまる場合の機能 をを投することによって、場前内のは解析的はないまする方法を提供すること さるる。 その一個として、本見明は、場別を同様が表示できたもり、理例 子提展的性をもみかつただってが、場別が、場別が実施の際に選及されたよりペプチド
- 子提高が吹き合うかつ免疫ダロブリン類の外変減の原に運送されたギリペプチドから使る。 可適性連続人能合すソバク質について考える。 治療にその関係人能合 サンバク質を使用することもなた意思されている。 原志した一直として、未受別は、発見ペラチー、並びに、リーダーペプチドを レードエスの人を寄せるのダロブリン質の外表系の研究コードするDNAを努
- が選択しておけ、まかから、パップン シードする10人名だり表がすづけりが自分が表の情と・一ドする10人名だり のだか、他からかいは周囲的セードする10人名だけを付けてもことによって 表がまっけりがあり取べるケーを受けてことからなる私は成分がかっ 対象がよう一の性がかたいって考える。ペラーそのもまる私は成分がかっ 大規サップリンを関係がまして、分かさったの数では、大切にくら 一つを放びってけりが回りませた。あらした地参ふいは近期に行う。大 を収集がよっていまった。まらした地参ふいは万里によった。大
- 本名のスペントン 本表別のこの配金組織人物会ケンパク質は、先戻ゲロブリン分子の表別性及び 可得性によって、可存性で、水性の場実施、特に成れ規模技不比的的対象であ ると予認される。組織人能会シンパク質が取得分子の一部として分泌される場合 、第分子は、4部の先度ゲロブリン版のうちの少なくとも2部の火薬のがない いたリンパケアに関係のそかち、さらに古た、多年後を与える部分分子に対し

- てより高い契約性を示す。免疫グロブリン構造に急食する拡散を、特に供用分子 のヒング (つかい) によるものであるが、これが、ボリイナド語も認め出き が、そのほかの部分に比べて、運動分子上の指導型の三次元が設定への貼合都 後の三次元が設定の選ぶを等形にすることを可能にしている。
- 一方、福井站合の注意もつ声致のショート コンセンタス リビートをもびは 放え組合免疫プロプリンタンペクの利用は、本発売の好えしい知ばであるが、本 発列はよれ、より原源に、同時位で東京学的に通う可能立位体に達越した福祉が 合物配を持つショート コンセンタス リビートを含む収斂のイブチャンの支る 補証的も、このような複数をか出来の利用についてもがまする。
- 図面の近延年度型 第1版 CR2-1sC1路のタンパク発現用に構築されたプラスミドの地路 。CR2・挿茶レセブター タイプミ: YM1×刊建整度: ガンマ1:不民意 版:CX1-3:不民意版エード環境: NBO:C418解性コード環境子:
- 5 ¥ 4 0 : 減ウィルス 4 0 プロモーター。 第 2 図。 C R 2 − 1 g C 1 用プラス 5 ド棋祭内の、ガンマー 1 ゲノム D N A に まました D N A に対しの世界の対策の
- 承入したDNAに対しの文文がわる。 第3版 完全なCR2ー1まClの社会モデル、SCR1、2:CR2分子の ショート コンセンテス リビート: Yh、Ch1、h2、h3:重信の可表
- 及び不変域域: Y1.C1:54が軽値の可変及び不変域域。 第4個、\*\*\* 1 ~ 個類 > C3 4 g の X 5 5 2 無限上のCR 2 ~ の場合のCR 2 ~ 1 g Cl による関系。
- 1 2 0 1 によるなが、 第 5 位 3 0 位送的セル版の存在系統合物資本在下または非存在下における、 \*\*\* 1 一級数の CR2 - 1 s G 1 の B S 5 / 8 解的への結合。
- 第6回、CR2-1601による末標血Bリンパ球の28V原理の図書。
- 第7回、マウスをCR2ー!まじ!で処理した場合のフルオレセイン特質的! EMレベルの似下。
- 第8回 CR2-1ま01による、フルオレセイソーフィコールによって生じた。フルオレセイン特異的プラータ形成知動性の味か。
- 第9匹 p SNRCR2及びp SNR O 2 1\* プラスミドをそれざれが双に発 双するようを8 上細胞から分泌された、精製細胞之にR2-1gCl (左レーン )及び1gCl (右レーン)のSDS-ボリアクリルアミドゲル。

- の問題での特異的域セッジを収録の生情違度をELISAで測定した。データは も決定に関いられたマウス4匹の平均端+/一個単値数(SBM)で示す。 第12版、BALB/c及びCSH/Nゥリマウスにおけるヒッジをに対する
- 協権が認めに対す一点ではこれが認めば高、あんしゃ/本記でおりが作っ オフラスを始めたカンのデーデース。中心や、大型でありが作っ に対しては、位配的とまたは「点」(6回的)を、例れて、(ま)は とかりを生物を下きる。東の他が大型が、1 中間が大型が大力であった。 ので、プラマンスはじまるから信号は、放送等のなかからにあった。 におきた。「中間では、一般では、アラマンスはいまった。 におきた。「中間では、一般では、アラマンスは、アラマンスはいまった。 におきた。「中間では、一般では、アラマンスはいまった。」 におきたいては、ペーマンスは近日が中域・/一様が発展(3.5 に)のです。
- 第13級 い 1度型製造入1gC1、CR2-1gC1、及びCR2-(Pab\*)。のマウス立しょう内における平成期。
- 第14回 \*CR1/\*BSCR16、及びSCR-8から114例及グロブ サン重減に連結しているCR2-(5.8%),による、\*\*\* (-C3b-二星 地のヒトBに対する場合の開係。
- 第15題。CR1/aBSCRIc及びCR2-(Fab')。による、反 体に適用されるとサジビのとト血液中における陰解の服者。
- 第16世 SCRI/FBSCRIの表がCR2-(Fab'), による、チャナ列頭したとト血液中におけるCSa-detArsの主意風容
- 第17回 sCR1/pBSCR1c及びCR2-(Fab'),による、チモナン処理したとも直接などがるCSz-dszArsの注意服容 図18、CR1-F(zb'),コンストラクトの配質が安されている。Ps
- し」が終されている。50円のを報告から13階までを全むCR1のスタルメ がす1501からまなるまでをポークターのきょ11間にクタープレスト リヤ5−1ェのリーブークの位置は、20セナドリに、CR17ーエタルメ テヤ28−150、せしてCR1の対策→スタルチナド151となるように乗り 他つけてある。 起例の影響は延囲

※タンパク質のフラグメントを含んでいることが位所される。 ※リペプチビ

まが初った時間と力の個別であるサイナドは、現め位置において取り を心間的では支援機能をした、即時9年間間では、関連を登入していまって、 ナプロープのも2 (間にしていり、ボボリーブテトワマトン 英雄などがあった。 少度対は大利的ほどは大利のローデットのです。 大型なガリーブライドは、 和間に一分質のは関係したりが同じーデットのです。 大型なガリーブライドは、 かりずまからには近く間があったで、日本メブリーボータのでは、 カリザネからには近く間があったで、日本メブリーボータので、 オインとに関係するとのも3、ボボーツデーがではからなが、 のうまで用途を対することで、そのアインがありた。 インが記には多なアンドンの場合のの姿を引からない。 インが記には多なアントンの場合のの姿を引からないたりからか。 インが記には多なアントンの場合のの姿を引からなったとからからか。

本役所の融合タンパケ党を作るために付加される認識ポリペプタッドの分けも収定 ダップリッ型所の成式に付款されるので、投資グップリック可能に関するが会な 双型を終えられて、それ後、未会の能力を対することにはならい、その結 派、特定的な認識がを行ったったるポリペプタドル、本ヴリペプタドの監局 現金世間に用水が可能で変かてフィーダルコンジラルボーシャ流の同じトー アンバンらは、ダップリエスの人はそらな記念が成とたは始を開発の基本として彼 用することができる。

本ボリープラドか1 つまたは複数の極端の構造を示求し、その拡集化とも組合 されたタンパク質が実現され可信性であるならば、ボリープラド自身や複数の結 合物技法とは認識的数を任意にないことができる。ボリイブテリの大きさは、大 ますぎて動物経環への拡進が高度に制限されるような融合タンパク質を作らない 関連することとが呼流である。

の次であるとごからなどのか。
、 かっかり 「おります」、 このであり、 このではなり、 このではな

1、およびフィッター人はDORK、 MARCATO ハンコンコン 本発明のこの機能により企識されるボリペプテドはSCRからなるポリペプチ ドに飛起されるものではない。それらは、求めるエピトープ、CD4,CD19

. 丁賞教養を体などを含むいかなる甚至の支容体、またはC3 6 s 認為課故などの、受容体に関連的な分子構造を含むペプチドを含んだ(しかしそれだけに保定されてはいない)求める3次元ペプチドのいづれであって6よい。

の企業の記憶をグルジを対比されてきないではから発展でするアンドに運動を はいのであっている。インテクトでは、アンドルでは関係にかっていません。 はかりであっている。インテクトでは、アンドルルでは、アンドルでは、アンドルでは、アンドルでは、アンドルでは、アンドルでは、アンドルでは、アンドルでは、アンドルでは、アンドルルでは、アンドルでは、アンドルでは、アンドルでは、アンドルでは、アンドルでは、アンドルでは、アンドルでは、アンドルでは、アンドルルでは、アンドルでは、アンドルでは、アンドルでは、アンドルでは、アンドルでは、アンドルでは、アンドルでは、アンドルでは、アンドルルでは、アンドルでは、アン

ドットしい(は (ドッ\*)」、今日は、直はシン部ののかでロテンパや飲み 新江の東京のかい日前はファの南人によって下。民族を大夫をそれできる。 東面かりンパラの取得がた血球研究を含むして、ドゥ 交別を合いた日前が他に対からの様を見続けてある。 本面のランパラでか カディアリンのからにいて「日前を取立してイッティブのド・ロ解を設けてること 当時者収集からから。

改変された免疫グロブリン発表ペクターは、プロモーター、リーダー収別、お よび求めるポリペプチド結合領域に相当する配料を組み合わせることによって、 新たに関訴することができる。これの必要がに関するDNA投写は、設施を成 、グリチターが変更な。 およがゲノよな社ら DNAの分子ターエンドを含 から、 大後の本人をでからなかたよって行ることを含る。 アモーターエンド・ フェーア・亜ビは、 たがアップリングできる。 東ータランパッグを含むませまい これっては有なては同さる。 との作用でフェット上がジャーが必要 いて近く前が表した。 オーターグー 型が冷を照け、直はれたを走ぶたは いて近く何がまたないもあり、メーターグラのが他を添けるものでもれば、い かる記念を含めたけ、ことが行ってからいまた。

高市収集型・ロアリン酸を対4本分析ではよく体もれている、数タケのブラン 第2 - ドラなのブは、現現を指示するアロー・アーとの特殊を指するです。 記録を含めたが、ファーとので対抗に支援的表する。、そのような表示のテージー も水イクテー化を含まていることが最近対象である。そのような表示のテージー が展生ードでも数字のチーの多くにアリリカン タイブ・カルチャー コレ クレッパ、男々など、111 は、パーランド・カルチャー コレ ウェッパ、男々など、111 は、パーランド・カルチャー コレ ウェッパ、男々など、111 は、パーランド・カルチャー コレ

求めるボリーパチドおよび発送・ロブリン間のためのDNA医別を得るための 情報な対益体会分裂の影響の内にあることは写真にかかり、発送・マブリンだ計 および食める性温の間に何当する医がの内方を含むで変ペッターは、未分野でよ (場合れない大れの方能を用いても複数することができる。 別えに、ある改集べ タターは、先次ダロブリンはの5 "森辺くの発展ペッターの配野中に即転が収を 見出だし、その研究研究を引入が認め情報に利用することによって再覧すること ができる。次に、挿入が認めための配列を本発明ペッター中に対入する。その対 人間は比、分数を指示するリーダー配列の5 "新に対ければならない。

は対する。サーバアトリに、地図中でも今日間を受望し、実践的の問題を 風景が自然でリアールでは対応、変形的は対比が力とが変形的を 風景のもついでできる。ボディーがは15世末とからかない物のでもから 他のないがプロスト、ボディーがは15世末とからかない物のでもから なのないがプロスト、カード・ローバールでは、マンストリールでは のないがプロストル、ボディールでは、マンストリールでは、 のないがプロストル、ボディールでは、マンストリールでは、 のからは対象とは、、ボディールです。マンテルを取り合いでは、そのでは40世ではな ないまた。

具に関かとなるであろう。回途生物の自主知的を、例えば本地原ゲロブリン配列 が、ドゥ回を含まずそれ放配が後のグリコンル代を関しないドネシフラグメント に関当する場合に、本総合チンパク質の発気に使用してもよい(ペラー(Bec ier)ら、(1987)、Science、240:1039~1041を参 ※)

国中年以前をかかいます。一下本型的学者のでは、またが、 トルドール・リ、ドルデール・アメロ・アメロ・アメロ・アメロ・アメリート イルベール・スー型を対象によりましませる。 取締で加ませ続きアメリー イを収益をよったのは、提出さればなる。 取締で加ませ続きアメリー イがなかったがアメロ・スーターとのである。 及がイットーをあわれば イルスターフ・アメロ・スーターとのである。 及がイットーをあわれば インスターフ・アメロ・アメリートをある。 スーターとのかは インスターフ・アメロ・アメリートをのである。 及がイットーをあわれば インスターフ・アメロ・アメリートをのである。 及がイットーをあわれば インスターフ・アメリートのスターフ・アメリートを表しまします。 インスターフ・アメリートのスターフ・アメリートを表します。 インスターフ・アメリートのスターフ・アメロ・アメリートを表します。 インスターフ・アメリートの外には、インスターとの大力では、インスターフ・アメリートの外には、インスターとのより、イン

■別の出版的マングでは、現在から本地が開発を使かればしまいては、 の主意が見ていません。本の研究では、ことでは、新聞の研究では、 の主意が見ていません。本の研究では、ことでは、新聞のカランダでは、 の上の対象の変形があった。ではできる。、地域をランクがは、思考的 の出版的の変形があったではできる。、地域をランクがは、思考的 に対象の変形があったではできる。地域をラングでは、思考的 に対象、多の形式ですりでは対象があった。というない。 が、多の形式ですりでは対象があった。というない。 というない。 といるない。 本ギリ・イブチドをコードするDNAES(を本ベクターに挿入し、本部の表达を きかソルク型が発現されたとなど、ボリ・ペプトドを使ぎっすりソン型のいたなに ハンペンなるとうだす。長が日本なられ、本オリペプチドドリックの日本に 向らず気度グップリン型がの証明のマミン様にお合ったいるものである。よう 化工芸文化、免疫グロップリン型のお兄児間かり変形面に使れているは、本ギ ペプチド世別地のアイカロマブメ 別に支命合れているよい。

組み換え融合ケンパク党の抽製 本改変発現ペクターを発展させるための知能が行の選択は拡大ではない。一般 的に、正しく折り着された免疫グロブリン分子を発現し、<u>| p y | y e</u>ではこ るいづれの意味を確認も完了させることから、解釈動所の報酬系列が使用される だろう。本発剤のベクターを異項させることのできる智能系列は容易に入手でき る (殊 アメリカン タイプ カルチャー コレクション参照) . 好通な知動所 列は、本発売の改変処項ベクターにコードされる領に招補的な額を分泌するミエ ローマである。そのような複数を遊生する方法はシェネー(Schnec)ら、 (1987), Prec, Natl. Acad. Sci. USA, 84:690 4-6908 (本明細器中では参考支援に取り入れられている) において試かれ ている。特に有罪な細胞系列はJSSSLとの名されたマウスミエローマ制設で あり、これは本分野の多くの異なる研究者によって利用されている(バラードも , (1986) 17A-47V (Brusseman) 6, (1987) :#X 3-4m (Gascolene) 6. (1987) :#7 (01) 6, (198 3), Proc. Natl. Acad. Sci. USA, 80:825-828 : 1-572-7- (Trausecker) 6. (1986), Bur. J. I

unol., 14(1)303-314;ウィリアムも、(1985), Gene 。(3)3130-324)、この回転所は攻撃プロブリン様(ラムブ)電気 更なるが、直転を選手でも比力を入ている。 現在失敗プロブラン型所を持つ飛及ペクテーとともに、もしくは、あるいは 現る基準から異なるランパク質のフロモーテーをおび、方をいるとは関するのに対した他の関する。

mmunol., 15:851-854:2725. (1988), J. imm

ロフェノアセナルに特別的な免疫グロブリンセイエティを有しており、ホキメチ タンパグ 質の投資給合態と配合するであるラフフィニティマトリクスはアルル ゲマンル、(1927) (本列数書かては参考文献として取り入れられている) により記載されたようにして取ずることができる。

製造の意味だけます。
「所名を関本にないては、表演の自然の表別を含めている。 福祉会会になっています。
「のっちにを記せた人が知らりっちゃりでは回転を含めている。これからな 
をのまたにを記せたしたが知らりっちゃりでは回転を含めている。これからな 
をのまたにはないます。
「のこれはないのはできないでは、大きながないがなくがあっている。まで、
アナードルを見がっすり、これがしている。またが、
のこれはないのはないでは、大きなが、
のこれはないでは、これが、
のこれはないでは、
のこれが、
のこれ

にすることが知いたか。 多数の解析後待期途をかみ発展がロブリン数合タンパク質と同じ報告付益 ドラ巨大分子コンストラタトも、本発明によりを図るれる。 巨大分子コンストラ タトは、再成也の主張等かに存むに多る巨大分子芸体に付けられた様体結合が位 をもつまて見を含むが認めペプケドを含んでいる。

本型自分開放水で同じ近年的に内が「以上投入分するも、ここで登録 的物では、よが対にで描した。 対することを持つてもうらいう実施である。 まだ時間が同じ近じた状態 的設定である。 計画に「以上的ない」を必要である。 まだ時間が同じ近じた状態 の設定である。 計画に「以上的ない」を必要である。 まだ時間が同じ近じた状態 が設定である。 計画に「以上的ない」を必要である。 まだらは、 ま ボアカイリン、 ペック、 または表皮がマリックなどのタックであ、 す。 メリカールを比ばオリャンストルがリテールが足のボリース、あらい状態を はポメエルシッグラールで加算することとより、 からに対象を はポメエルシッグラールで加算することとより、 からに対象を はポメエルシッグラールで加算することとより、 から関係を はポメエルシッグラールで加算することとより、 から関係を はポメエルシッグラールで加算することとより、 から関係を はポメエルシッグラールで加算することとより、 から関係を は、 からに対象を は からに対 クンバタ気を含むが、それだけに到限されるものではない。進した担体が半分野 では知られており、明えば米頭特許4、745、188および4、847、32 5およびその参考文献に記載されている。

補体統合的技を持つSCRは、哲大分子返降への化学的統合が使われる場合に SCRペナチドの末端の便利性が収定されなくてもよいということを強けば、免 反グロブリン数合タンパク質に関して上述したものと同じである。

本コンストラクトは多くの不法により調整できる。 経体がタンパク質の場合、 **団体につけられた多コピーのボリベブチドを含む動合クンパク質が発現されるよ** うに、祖外局の発展ペクターに本まりペプチド配列をコードするDNAを挿入す る、組み換え DNA法によってネペプチドをつけることもできる。免疫グロブリ ンのN場領域以外の部分に繋がれたSCRペプチドは本芝港の範囲内にある。本 SCRは、CRI抗導体をたはClr、Cls,ファクターB、C2、ファクタ ─H, C4BP, DAF, MCP, CS, C7, !L-2長容体アルファ, ベー ター2ーグリコブロテイン 1 およびファクターX II を含むタンパク質抗媒体を含 む他の補体S C R など、特有の性質を持った別のポリペプチドに融会される可能 性もある。また、本ボリペプテドは、例えばボリペプチドのみあるいはポリペプ **↑ドとは合配列の配列をコードする発現ペクターからの発現により、独立に単生** することができる(例人は、米原物件4,894,443尺板)。 彼た、木ボリ ペプチドは受容体タンパク質のタンパク質分解性の切迹によって終てもよい。こ れによりボリペプチドは木発灯により企図された気別の構造と延伸結合物位とい う特性を持ったままとなる。ゼリペプチドを独立して得る場合、次にそれを、本 分野ではよく知られた化学的総合技術によって証券である巨大分子に結合させる

・ 放下のは途を達じて本発明が、記憶されている始終において本発明の場合換え 設合テンパク質に適していることから、循係結結部並を持つSCRを含む複数の ポリペプチドを有す電欠分子コンストラクトを全関していることが理解される。

回原出版 CR1またはCR2またはその両方に見られる総合部位に相当する、福井フラ グメントに対する場合可位を育すコンストラクトを調到することができる。CR

1 時間であることが変ましい。 ポコンストラクトが低ウイルスまたは放発所有 に使用される場合は、 ポコンストラクトの立位を折算は少なくとら称1 0 時間、 好選にに少なくともか1 日であることが変ましい。 参議側は本分析で始られてい る実施の方型がルーチン技術とより容易に開業することができる。

本発明のCR1免疫グロブリンキメラは、CR1配列のSCR8から11まで (C3 b 統合ドメインに招当する) を含み、これが先疫グロブリン監視のN N 2 米環状状に付けられるように構築された。このコンストラクトはC3 b筋合を介 した c C R 1 / p B S C R 1 c の到の接踵の機能器性を維持し、キメラの免疫グ ロブリン部分に特殊的な ja マリマッでの実定性を保持していた。先政グロブ リンにより冬えられる<u>」。 Vlyg</u>での特徴は、このようなコンストラクトを CR 1が関与する疾病および障害の治療のための評議な治療分子にする。そのよ うな疾病および保害は、不適当なまたは夏まれざる媒体活性化の関与する疾病( **血液透析障害、経念性同様移域および具種移植物施反応、インターロイキン2(** 1 L-2) 治理の際の 1 L-2 禁薬性毒性、A'1 D 5 などの血液学的感性疾患な ど) : 張取症 (魔病、AIDS、および集敗をなど) 炎症、除害 (自己免疫疾患 、収入呼吸困難疾候等、タローン病、熱腫等、火爆および使薬などに取れるよう な):免疫協合体務等(自己免疫疾患、リューマチ権関節表、全身性エリテマト **一テス、環境性腎炎、糸球体腎炎、溶血性資血、および豊底筋関力症など):神** 統字的保護(多発性単化線、ギラン・バレー保険課、卒中、労勞性展別係および パーキンソン別など): および後は毎両常技状態 (心筋圧症、医乳血管形成、お よび心器パイパス形成手術における後ボンプ症病群など)を含むがこれだけに躍 SHALOTRAN.

外の次がにからてRIの北京学り投資や加速は、そのチョンシャルが成りティブ フィードバック ループ (投資度が出てる選集化な経験的ないない) あって (投資度が出てる選集化な経験的などのであった) かったいたいます。 (公司を会せたいます。 (公司を会せたいません) (公司を会せん) (公司を会せん

経済性化へのポジティア フィードハッシ ルーフェファート 補体結合部位を有した可能性コンストラクトは、上記コンストラクトの徒号が

報告するは、から、「自己」が、大学の関係的でいる。(ファモン (アミュアル) 6、1939)が、大学にしたが、「は知されるシストラ のは、エランストララの機能学の必要などの事故とから得ない。 では、学生を持つてあるか、いったから制度な時からの記述されるが、 では、受性を持つてあるか、いったから制度な時からの記述された様々である。 では、近によった。「日本」 6、(フォラ)、Evr. 1、1 においる には、11、11は13~31日)によるであるカ、エッソストラティの影響が、 は、11、11は13~31日)によるであるカ、エッソストラティの影響が、 は、11、11は13~31日)によるであるカ、エッソストラティの影響が、 は、11、11は13~31日)によるであるカ、エッソストラティの影響が、 は、11、11は13~31日)によるであるカ、エッソストラティの影響が、 は、11、11は13~31日)によるであるカ、エッソストラティの影響が、 は、11、11は13~31日)によるであるカ、エッソストラティの影響が、 は、11は13日から、エッソストライクの影響が加速されている。

名を対比、今本外の原定に対する資質なステップとして自動性上のであるに対 合する。C3 を は地球に対応が必要が、 お地址上のであるを発音と結合して は外生産を感性化する。 日本体制とがマッケージのであると基準した「C3 3 により支持用が自然にされる。 発症のは、 IC3 3 とはりが作上のでおるに 移むしが支援的への発音を提出す。 発生のは、 IC3 3 とどは 3 とは場合になった。 たなに 3 会人に出来るタイプの開発と終する。

本見所にかれて、及びリロブリン重賞の制電に付けられたCRIのSCRIは とび3を全点CRIを見がってリンキナラが開発された、このナナラデモは、 アリエニマ下国際が出来した「回路がため方方の別などのソバス投 同時を示し、CIへの受客かたかして見び高するだめ、は目後を持たしてOCA 2名名首立した、この見は、12、エニエエでの自制的影性がにおけるCRI の記録を表する多くの何比にいける18、アリエマの同様の影性がに対し

CR2と交換反応するマウスCR1に対するモノクローナル抗体がマウスにおけ る気体反応を顕著したという以前の観点結束を明確にするものである。CR2が CD19/CR2数合体のリボンF結合サブユニットであることが深されたこと と相俟って、CR2ー1まG1の免疫的制作用は、CD19/CR2液合体の管 保任連接衛士を取ぶ付する B服務の<u>した マーマミ</u>での必要を地加させるという 生物学的単数を持つことの重初の証拠を提供するものである。 可給性CR2ー1 g C 1 キメラは、抗原に対するB製物の<u>1 ロ マ 1 マ c</u>での応答を開告できるこ とから、松野頂において不適当なあるいは望ましくないB細胞が設化を示す疾病 または顕著も治療するのに有罪なはずである。上に挙げた疾病および秘密に加え 、このようなキメラは、(例えば、同様形征片移転後の)免疫抑制なたは恋の治 際に使用される異雄移植片モノクローナル仮体などの免疫抑制剤に対する、窒息 しくない 1 次抗体反応を防ぐのに有用なはずである。

CRIES科を基本とする結合領域を持つコンストラクトは、重定算無力症にお ける成血に初進した感覚展集および翌ましくない福祉活性による他の確実を抑え ることを含め、可溶性CRIに匹敵する循体筋密模数を持つであろう。しかしお コンストラクトは可容性CR1よりも<u>la\_vjyも</u>で長い半端DRを持ち、組織 の炎症難により広く拡散する能力を経道に持つことであろう。

補体を活性化する高性生物、知器および翻译(ぽち、リーシュマニア、好象虫 )はCR3を用いて相談に入り込み増発サイクルを開始する。維持受容殊型成配 科を持つコンストラクトは高生生物上の受容体物合物値をマスクし、融合テンパ ク質のガンマー1額のF6ドメインを介してそのほ合件をF6受容体へと送り込 むであろう。このようにして寄生生物は、CR3座介性女作期によって好中年内 (ここでは寄生生物は幼物の味噌は味から保護される) に取り込まれるのではな く、PS里提供数据性数化的パーストにさらされることになる。

養々の福休技存性現象を語言するような動物の治療は、本発明により提供され る組み換え融合チンパク質をたはコンストラクトの後与により連续することがで 3 る。場外以外の極的分子に結合する認識ペプチドを持つ組み換え免疫グロブリ ン社会タンパク質は、個々の部的分子の知能への総合による知能現象を服者する ために治療部において10円される。

対する結合サイトは二つのアミノ末端の坂い共通近り返し紀列(S C R)に位置 LT0-8 (Lovell. et al., (1500), Liter. Red., 170 :1911-1946) . C れらSCE=はガンマー | 話をコードするネズミのゲノミック重複pks の5'末端にク ローン化された。何られた融合テンパク質はネズミのミエローマ解物系でうまく antan, co. igil all she.

\$X307/3×9 #YY-184 000\$2 990-279 billard, et al. (1980), Pres. Sail-Stad. Sci. 831-8326-96308-16-9 てゅ580021 と名付けられたネズミ ガンマー1 ゲノミッククローン (参考文献 の変異体1)はアミノ数5番目と6番目の間にたけずイトを含んでおり、安定し た高強への組み込みによって、Gillell性を与える。CR2 の最初の二つのSCIvを含 んでいるEcol-Riof 取片はclass ローン (Meis, et al. (1988)、 <u>A.Fan. No.</u> 立。 <u>181</u>,1047-1866 に答づく)から原理された。二つの知いオリゴスクレオ チドは、ガンマー10M のPatiさいとにCE2 取片を挿入することが出来るように 作成された。5'オリゴスクレオチドはイエノグロブリンの扱み枠を保持するため こが知された。3'オリプスクレオチドはCDS と物質の間の素軟な速度のためにブ ァリンとモリンをコードしていた(図2の配列番架)。 こうして得られたクロー ン(SSMCR2) はアミノ扱1-5で何び向先するネズミガンマー1級をコードする (201.2.3 分配)。

# エレクトロボレーションと選択

MSR ミスローマ製作所は5.1. Norrisco博士の家室で發展された。それは何く v/v)の作うシ血液(BCS)を抵加したEVRITE(DENE ("ATCC Catalog of Coll linna and Arbridenes," Sib 36., 1983. pp. 353-6 ) 电极极

JSSR はラムダ軽減を合成するJSSE (ATCCアクセッションナンバーギTIE モ) の意図を失った要異様である。 639次段 および事情されていないガンマー 1 回株 (pS/R021 ) はPvelを高いて直接化された。ミエローマ知识はエレクトロボレー シェンセトテンスフェクションされ、24円間後に0418(I+g/wil)の能加により返 吹され、マイクロクイタープレートにクローン化される。

得られたクローンは返択され、上げには134 によって160回性を加定された。

上記の方弦において、本花含物は、例えば皮膚または巨丸薬などの信頼なば路

のいづれによっても役与されることができる。 覆々の転用派が知られており、こ れらは融合チンパク質およびコンストラクトの雇用に使用することができる。こ れにはリポソームによるカプセル化、取除、 変たはマイクロカプセルか合まれる 。他的某人方法公は皮内控制、整内设与、加速内投与、存获设制、发下较等、基 政内収与、および毎口程与か合まれるがこれだけに限定されない。

本発明は全た、医薬組成物を提供する。 そのような規模物は治療上有効量の説 合タンパク質または嫌散をおよび、拡張上許容される媒体を含んでいる。このよ うな媒体は、生理食塩水、平衡化された生理食塩水、デキストロース、および水 を含んでいるかこれらのみに形定はされない。

典型的には終展注射による役与用の組成物は、破壊された等張水均性設制派に 認解されている。必要であれば、超次物は溶解促進制および性人類位の痛みをや わらげるためにリグノカインのような応用な時間を含んでもよい。一般に、ち収 分は単位型用量毎に別々に、または混合されてアンブルまたは少量入りの姿とい **った密閉した容器に、話性単位で換算した返性のある製料量を明示して供給され** る。様成物が核人によって数字される場合は、被領した医療所能の" 技材用水" または生理食塩水を含むは入場で調解されることも可能である。 構成物が注射に よって製与される場合は、往射用販路水または生理支炬水のアンアルは、名成分 om F的に混合されるために、質供してもよい。

医療組織物の一つまたはそれ以上の成分で調えされた。一つまたはそれ以上の 容器を含む製用のパックもまた、木見別の装置に含まれる。

職状物はタンパク質の食気レベルが動しから100g z fulの範囲を破捨するよ うに数与されるが、これは融合テンパク質女たは構築物の特別的総合反応に必要 OME WHITE.

以下に示す実施別は技術のためにのみ含まれており、本発明の範囲を確定する アとは実際しない。

**寒寒倒1**. ヒトタイプ2編体費等体(CR2、CD21)は、ヒトCSdsおよびエブシュタ インーパールーウイルス(EBV)のリガンドである。これら二つのリガンドに

これは、以下のようにして行なわれた:

ネズミしば のわい 節片に対する抗体は延迟特殊上摘中に存在するいかなるしば 1をとらえるようにマイクロタイターブレートのウェルに固定化された。ネズミ のイエノグロブリンのラエグ狂盗に特異的な、ベルオキシダーゼでラベルされた 二次抗体は、結合の後、ブラスミドと製体のミエローマ制能からのラムが装出象 のガンマー1気を含む完全な!の の存在をシグナルで示す。

タンパク質の甘葉 発現されたタンパタ質には-IgGiとlgGiは記述された方法にしたがって(brogge same, et al. (1997). L. tre. Sec., 168 (1351-1361) 815-47 7 0-2 200 アフィスティークロマトグラフィーによって培養権上途から替長された。888-74 GEによる解析によって複数されたタンパク質は、軽減はそのサイズが等しく、CE 2-leGlキメラの保護はleGlの場合よりも目の大きいことが明らかになったが、こ れはスーグリコンレーション化され好るふたつのティトを持つ5切っか二つ存在する ニメン、存合性を楽していた。図9参照。

東海州2 ヒトロ4の機能は会したけにで対する環境をの対会を分析する結会 NECESSION (AFCET P & + P = V + V / - CLINS) Milesell, et al. (1989) K 関って研究されたヒトCE2 の配列を含む発現ベクターで、リボフェクシェン(Sta theads Excessed Laboratories, Inc. )によってトランスフェクションされた . FRONTEFEFESSERCIGHT | TOWNSERCHISED (Carter , et al., J. Imascol., 142:1755-1710 ), Millit 1 и г/н109с766 88 68 、地大する確定のLoSiまたは実施到IのCI2-LoCiの存在下あるいは非存在下で、 永上で30分階費されたのち、答葉のリプチルーおよびリノニルフタレートの包含 **物中で連心器作された。 沈殿中および上油中の放射器性はガンマーカケンターで** weather.

acatamanに続ける重合はSeport との相互作用はSex の選択の提供人可能性は 2-LyGIによってSNI 脳帯される(Wii)。可能性で、切断された形の、脱資温度 域及び鞠鞫内策域を欠いたCR2 に対するCR4の単領の総合は、Medi27,5pm で住 じる(Meers, et al.,(1985))。従って、キメラケンパク質の二つの段の中に ある二つの口は 結合領域は50% と他互作用し、2個の結合資本を引き起こし、

ファイニティーを実質的に残める。

福田場合したおり タンペク質に対するの2 1461の総会

185元 被数 (ATCアクセッションナンバー #4 EL ISE2) はMou/Al の作品 (フェルボール ミリステート フセテート) が、Molyalek, et al. (2019) J. 11(e)。 11:405-44によかい工匠をおているように、140の免疫と分泌を結ぶするために、2000とないることを除けば、実施料1で用いられたのと同じ場合で 発表された。

1点はおよびでは、1点は工具が作品。および工具が作品。という有異的部性では、 1、アラールを大に(frate、 4.は、1970 「Joshes Jahoba、Da. Das. 1、アラールを大に(frate、 4.は、1970 「Joshes Jahoba、Da. Das. 1、Pack は 5)。記念れたは日の心力が正な知識にフェール・イッタ(作 1ではは)上に東文した。国際はリタンドと共に来上で30分割費され、現め ファラルールはグリンム・ファラレー・1の混合物で混合が存れた。以来やおよ だは中の心性が見びはファーカッターの力な合れた。

放射度混合れたは2-1gCは185/4 割数で発現している889 タンパク質に、0.58 8 のアフィムティーで総合した(図5)。これは、単純の総合のおがではする。 ったように、02 の131 への2 版の棚至竹用を再び示唆している(foors, sr ef st, 1589)。

マウスまたはヒト素物で映現された現代子によるCRC-jetlの取り込み

(23) 上の日本でもとびかくの間がたら様まの機能が「「で開発したシッタ のでイマッカーの力と込めの第三によって決定された。このから よったれつつるまたは、上面を中、この他の信息の間性を表布するはか およびなからのまでで、あいた。様する様式を担答するはのかった。 の場合もたちである。たらの後間であるなが大き、またでののかから リンに続けて接続されてきり、にからの間であるなが大き、またでののかから リンに続けて接続されてきり、にからの間であるなが大き、またでののかから アメニカーで関係されてきり、にからの様であると対し、またでのからから フィントーで見なっています。というないないではなど見ない。

(22-140は、ヒトかよびすりス(部件で、それぞれ、キノラはヘラロなリガン ドに対する方が、キロロガスはリガンドに対するよりは、高いプライムティーを 月つことを示す、(0.44)と Tokio-5、平方が、30 かよび 3.24/1.64(64) の 世球数点れたダイモラン技予に総合する。(図119 回風、) 様って、(22-14) キノラは影響内に2 のマウス内の結構指性化数合体の結合に対して致合するため に関いることが可能である。

京集報1 128-インフェクションの発光

2000年3月、1844年アルメンエンは、 1910年3月 1842年 - 1843年 1842年 18

ion およびからな関係の位配上のそれに実現的におけるもになっていったから を行かけった対象がもの間が利用が少年的たれ、プロインコールールル を対象がある。別様がようすと近色をから、型の風感がエフタールでは をれた。それは、エブジッタインーールが投資(IOID に対する影響をか とが成る。それは、エブジッタインーールが投資(IOID に対する影響をか とが成るまたなど、日本のから、整定と、デザビ・とか打したとした。ゴン できる分配面がから、開始に、大田のもれた。(IOID に対するが では、Marchite et al., Med., Denail of Citates Microbiology 3d et., ju に応え、Recobils。Intellecture et al.

が成 だよらは100 田野のインフェクションは120-1点(の飲味によって、量に吹 おして、田寄名以降た。8.4 g/s1の意実では、2008.要求は、ハックグラウンド のレベルにまで低下した。コントロールの1回は非常原と同様の作業を派とした : どちらの場合も300 の300に 知恵がインフェクトされた。

京路明4 - 986. によるはV 改選性\* 5-チミグンの取り込みの開査

OF-LOG, NICOSH ENGINEERING ARRESTITES OF COMMENTER OF THE PROPERTY OF THE STATE OF

46、191 エタノール、25 TestedD に削減された。「auA・(在時後近から地面をれた (Sickinser、et al., Sell\_Insteal\_, 1980)、ml、21、pt. 44-66男 )」 4 8月保証と1 pt. 61 トップランダのかられた。1 2月保護体に認定しまった。 、及り込まれた独特所な仕事のシントーーションカウソラーで発症された。 \* 8.チミランの窓り込みによって及及した191 インフェクトされたトリンパダ

の副語物は、COLINGによって重保存的に服害され、DOLE/elで完全に顧客され を(関係)。

発売化を開発に取るされた。100 ga のでは・6月1日は レールを召 のかいもか ものに任うをせた。10年 日5 のが14年 まて大利に乗すした。19日間に発定さ な大きの開発に付ける17年 日5 のが1年 日5 で大利に乗りた。19日 日5 のに向けた設理した ま大きの開発に付ける17年 日5 でありた。33日、10年 日5 マールの14日 を設定したマクルは10~に対して、3500の特別がデータ。17年 処理した マクタ11100、2011年以降にカートをは対象のとなった。

CVF はコブラ南から得られたタンパク質で、CDに対するコンペルターぞの活性 を持つ。この研索は住入されたマウスの活性のあるCSを結局させ、したがって、 ○20-14月は無数的ななと、CMなどたいして、協議がは並合するが、これはおそらく、技体・性度複合体を抜けるせ、ことに免疫化のほと場合し、したがって、 4 種類に対するなかの対に関連する影響を使のせるのであろう。 CR2 14日は3 細胞の低性のを注 り立て対えることが出来るため、場とにくい程度特異の日報 別域性化される状況においても必要が例に利用であるう。

の他のように関われて、この中のは、この中の会性に対するからの意見とは対 を発生され、概定され、このでも一つのはパイマウスは大りの含めません。 大力を感覚が発性されては、1度のウナープロマスは生態が メニモデー 組織人は他を展に分けて、完成化 可見にからが、ことで、表面は3 年間、 1 年間、 またが「一つのでうなには1点のでからでは一点が必要されて、ことで、 、1 登場のナープロマカムには1点でからでは一点が必要されて、ことで、 、1 登場のナープロマカムには1点でからでは一点が必要されて、ことで、1 登場のオープロマカムには1点である。 によっては最初をサイドルで、1 号間のナープロマカムには10年のからからまた。 によっては最初をサイドルで、1 号間のナープロマカムには10年のからからよう。 に シアガーエスを発展がませるからか。

以上は対対とが成りを使える力能は100人には一層があった数を必要する差され なだ他の形態がの後に実現された。免別なのは、50日にマックはヒックと 亡竹房 が実際が展現のテラーの前途域が行っめた。形 を 1st,1とによったしばか およびけるから前レールを展覧された。組入上には多えられたシットロールの マッスはセックをに対して、表に出していなり、再発するのは、自然を終い た対別したまでのブイックイブのなかで物質が高いの金流速度が加加した(図)

が、 政に報告されているように、特異的拡張反応はマウスCSの枯渇によって所属するが、このことは、この実験で用いられている抗原の過度では、3 異数の反応は

CN2: 1:61課契例のアイソタイプスイッチの研修性

さらに、CE2-1461キメラの、LeX 以外のアイソタイプのうちで放-188体の発展 に対する効果を検討するために、マウスは6410 1の免疫化後3から5週間に彼 って評価された。 二つのグループのほほがマウスは、全量300 #c となる(点)お よびCD-1mlをそれぞれ、写真となるように 5 回に分けて、免疫第 1 時間に攻撃 内に、免疫化と同時に野原内に、そして、免疫化から 時間、3 時間、および)1時 前後に理解内に役与された:3番目のグループはPは を提与され、にによる免疫化 は受けなかった。CP2-Leilは抗tiefをも日間に完全に即制し、それ収換はこの物 異性を有する14% せいかなるグループに於いても検出できなかった(図12)。 後期に最高値を持ち、Tail契理されたマウスでは40日にわたって持続する、様々 なlat アイソテイブの中で、校刊の出版もまた。CEC-lastで処理されたマウスで は501 から701 抽失していた。従って、可能性に対 は、一次反応およびそれに統 (、1. 住存性地域、セッジ8 へのアイソタイプスイッチングを服客する。この実 現は、超過スタンパク型中に収入している可能性のあるりがポリテッカライド( しょう) の影響を除くためにしゃる影性である。 口が出 後でもおこなわれたが 、0.16mp/mg タンパタ実験上の歴度に扱いて行なわれた、Lieules 上浦分析に統 いて、何も後恋されなかった。CE2-14(1は、BLC3/cマウスの場合と同様、CSI/SE 」マウスに於いて、ヒッグ!! に対する[df および[df 反応を抑制する動きを見せ た(第11)。このことはは4-140分子が、航軍に対する1次の報報店等を開客 する、in vissにおける効果的な免疫が販売であることを示している。

窓施列の 保証された状況 建設物の平板部の勘定 組卸表 1点3、におしまはおよびであっためり。はいり で搭載され、マウスで注入 された。 限った時間に血管は流流され、起射情性の概定された。程度された機能 の設定は別のの作業的設計性が重視いて計算された。何られた機能が終13に示 されている。検支は多様に対して、2個的であった。CD-1点目の学校別は最初は はよりも扱かったが、IDから23時間にかけてはそれらの学校別は最初していた。 CD-74の7、さけばまたは221月20円が9場合よりも明らかによりなくが変し た、使って、CD の25年の1日との8を至くつ配合させんメチロアリンでは、12年 に対ける特殊的な変を狙った例を発揮している分子を選集していることになる

家房到了 (22. F(a)')。植植物过福佳松会全服在了名

CEI はIBOSCEs (短い美球性の返し配列) をF-フロタイプ中に含んている。 SC Bs は最初の28のうち、7つのSChoedグループとなるように並べられている。 これらのグループのうちのひとつ(長い相同説り返し味噌)はならのは合サイト をもち、ふたつはCD に対する場合サイトを持っている。8-11と寄行が打たれた SCDs(CDs 結合価性があると予想されている) は本見明に従った。組換えDNA 技術によってイエノグロブリン重級F(ab\*)に付着している。CRI のSChi-FIに対 会する配列は非常の称目認知配列を含む特異的アライマーを用いて、CR 1の全 長DNAクローンの集合連環反応地域によって医生された。 (27マーの5・ブラ (4-EMIL, S.CICCOCHECTERCICICENECE); 454-03,1244-EMIC S'estericasticaseticatette 。) 地域されたDNAはPatiで切断され、降 Seintert Miffittfiab'), -608) のわはサイトにクローニングされた。ハイブリッドのCEL-9Gb\*)。は、編 他えプラスミドをJSSR 雑胞にトランプフェクトし、毎られた知恵をMFRI植地に GUSELING 行ウシ前接を加えた地域内で地震することによって、タンパク質とし て発現される。タンパク質の発現は317 被数別には 分析によって決定される。発 現されたほ!・チ(ルド)。 はメテテーセファロースアフィエティークロマ ト グラフィーに よって検討され、765 中で選択され、100 でで使かされる。 得られたタンパク質 は、とト帝立即に対するこの の場合に対する取者的に関して評価される(日)。 比 数するために、可給性CFI (ACTI) を用いて同様の配音実践が行なわれた。

 である事体は\*\*\*\* 「 によって放射性理路され、とト京血球とともに背張される。 様々な型のcctifeistent。または\*(sb\*)。 (ct) が受損され、お血球に給合した。\*\*\*\* ( これの重が受定される。 歌1 4 に示したように、scn/sistent および

「(い)」、(日) の所方が出る 2 資体の場合を同様に関すする。このことは、 50% 8:11 ははり の受金な切り 結合領域を含んでいることを示している。 関って、効 なはを持つが引/moは1 の完金な 2 後のCD 結合関係は、これら20%のたった 4つを、各f(い)、構造後の重要に対抗するだけで、 国等可能である。

第200日、ロバイの)。 現場をは在金額の採用の経営業業を成立。
の場合を持ち、フリールでは、利用の金額の登録では、10日の金額の登録では、10日の金額の登録では、10日の金額の登録では、10日の金額の金額のでは、10日の金額の金額のでは、10日の金額の金額のでは、10日の金額の金額のでは、10日の金額の金額のでは、10日の金額の金額のでは、10日の金額の金額のでは、10日の金額の金額のでは、10日の金額の金額のでは、10日の金額の金額のでは、10日の金額の金額のでは、10日の金額の金額のでは、10日の金額のでは、10日の金額の金額のでは、10日のでは、10日の金額のでは、10日ので

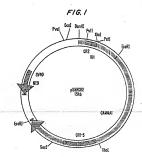
京旅村S CH.F(18")。 建筑板は採住の代替は現を置置する。

東京町、 MIJVES JI DAR SEE TO A SE L A SE 中の代替込みを恐性化する。 感性化は、CB をたばいち、に対する放射免疫分析(FID) によって可定することが可能である。 CELI/ANCHOIC になって可定することが可能である。 CELI/ANCHOIC になって可能化を原産することが知られている。

F(AP)、 - CRI 構築的による。ザイマナンによる代替経路の所性及の需要は、 認定され、SCIT/ACCILCの場合と比較された。翌18及び17に成したように、 F(AP)。 - CRI はCRIT/ASSERTとと関係には、の系成を配答し、SCIT/ASSERT とほ とんど問答にじょるを記言する。

これらの必果は、SCI/ASCRI の代替認路原溶器性の全てはSCR。8-11 のみを F(ia))。保証物中の各種数に繋がすることによって容明されることを示唆してい

これらの研究は、また、これらのIChが代替係基础者の全種保に定分であって も、Ch-場合程をおよびCh 不活化に理念を有するCH の最初の長い場所を力変 し反列のSCIsの付加は、古真的議題総書雑任に必要であることを疾安している。



沙童(PS\$EREE 20) F16.2A

# 学者(内容に定置なし)

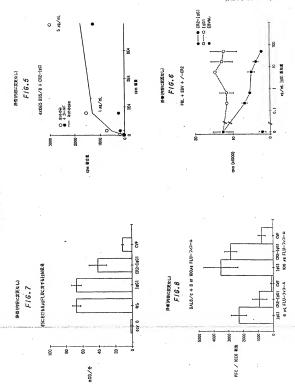
F16.2B

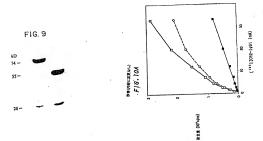
250 //Petal //

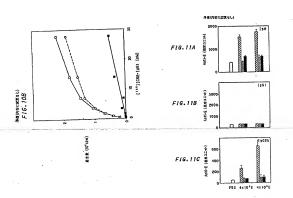
.CR2eb4003JV#7F##

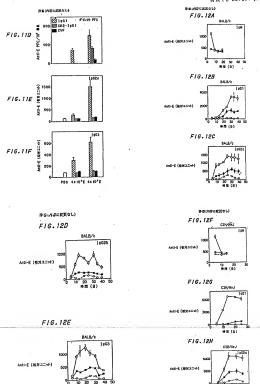
/ Nal tactastrantichatteanoreseet / Nal

**神夏内容に変更ない** F16.4









# 沙香(内容に変更なし)

F/G.12I

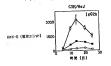
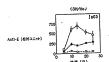
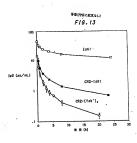
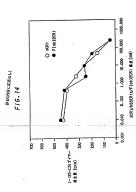
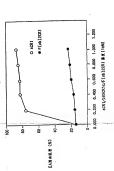


FIG. 12J



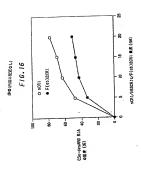


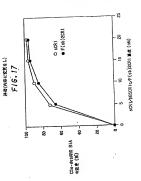




参数(内容に配置をし)

F16:15





F16.18

本見は、収定的の関係だられて交互で、場合的目標を促在との認力分子 に対す。は国際信任をお出がって支互で、場合的目標を促在との認力分子 に対す。は国際信任をお出がってする。「最初に、国際では をし、可能は対象と、自由サッケックを自由する。である。「本列は、血球等的 に基合が同なで可能性がより事業に対している。」本列は、血球等的 日本したできなく、世界のイケーをできない数をも同じている。本列は、年 日本したいては同様性をより出来る。

			持表平5-50719	7 (17)	
	华被植匠者	_	医医胃炎 医生	91/97852	
		<b>3</b>	To comply about the bed to the state of the		
	平成 5年 6月 1女 麻	40	A 61 K 37/02 A 63 K 31/395 C 12 N 5/10	-	
特許庁具	(S # 2		P. PIGARI SCALDESS   Sugarant Sandari Sandari Continues Spring		
1. \$44		Ins.C1.5 C 32 B C 67 K			
1	・CT/US91/02852 P成3年特許観知5093 <del>96</del> 号		Proposition Security for the Hilbians Committee  and Enach field hill Deposits and Industrial and Participations		
2. 501	月の名称 古合部位を含む可溶性ペプチド類縁体			Zarrad in Oxfor High	
			T EFA.0515267 (THE GENERAL MOSPETAL CORPORATION) 25 July 1989, each the whole decument.	3-3	
1	Eをする者 客件との関係 特許出版人		Y NO. A. 2002220 (Not Jusce moraces university) & October 1580, see peops 25, linear 13-36, peop 25; peop 27, linear 1-14; peop 35, (fast 10-25; peop 47, linear 23-27; paper 48-35; peop 52, linear 1-04; clear	1-3	
	生 所 名 称 ・ザ・ジョーンズ・ホブキンス・ユニバーシ	<b>7</b> -1	tians 10-23; page 47, lines 21-37; pages 48-51; page 52, lines 1-24; claims		
			T MARRE, website 509, 1 June 2009, W.K. Chauchery et al.; "A recombinant immentation conflicted of two extends viriable descriptions to proportional exitation", pages 384-377, see the whole decimant.	1-9	
4. ft	理 人 住 所 東京都平代田区大学町二丁目2番1号		significance extented, pages 384-397, see the whole deciment		
	新大手町ピル 206区 mg mg 3270-6641~6				
	氏名(2770) 弁理士 福 埃 都 至	r E		· ·	
5. KG	Foble .		* manufacture * Transcriptor T	-	
(I)	出順人の代表者名を記載した国内書間		The second is produced to the second in the		
<ul><li>(2) 委任状及び開釈文</li><li>(3) 図面開釈文</li></ul>			which is what is equivalently in processing and of written and the control of the		
			e motorie		
6. 16	正の内容 別紙の通り(尚、上記(3)の書面の内容には変更な)。	(P. W. )	N 2 3 0		
		56	ENERGY PATENT COPPER D. TO TO THE TO THE PATENT TO THE		
	. (	BIRE HERE		- <del></del>	
		$\smile$			
			delprochast A. bushe to	PETE USE BOST	
-		us 9)/62862	PARTIES OF DESIGNATION CONTINUED FROM THE STEERS SPECT		
Course,	Charles of Commune, while womands, effort aggregate, of the second purpose	Mond to Clamps	1		
1	The Jeureal of Innumbery, valves 135, ec. 4, October 1955, The American Association of	1+1			
	The Journal of Immembery, valves 13%, so. 4, Octaber 1985, Tax American Association of Immodalegicis (195) L.F., Price et al. 1 "Packer I co-fessor extivity of CRI symmotoms the presence of Friend 4 (A) on correlating beamed Chi (estimate), pages 2072-2079, see the small document.	1			
	reptdurn', pages 2072-2079, see the whole document	121			
	90 A 9004376 (SCRIPPS CLARIC AND ESSCRICK PONDATION, USA) 15 April 1990, see 9494 9, 16024 13-36; pages 10-36; page 17, 18465 3-9	~	A(D) OR STRANSSON ANGES CELLING STRANG MAYS LEADER FOR STRANGES STREET,		
^	Trands in Sistechnology, volume 6, no. 2, February 1988, Eigeriar Publications (Cambridge,	1	The second was seen in an own to be a second of the second		
	Treads in Sicreptualety, volume 6, m. 2, Foreign 1988. Elsevier Publications (Cambridge, Organization (Cambridge, Organization (Cambridge, Organization) of the Cambridge and potential projection and potential", pages 36-12, see sees 38, 200-20, and 3, less perspective pages 38, perspection 3, less perspective pages 38, perspective 31-12 (types 3		can PCT-Suite 19.1(1+)		
p.z	The Paseb Journal, volume 4, no. 7, 26 April	1-19,23	,0		
	The Faseb Journel, volume 4, no. 7, 25 April 1990, T. Hebril et al.: "GDF-SC Chieses A dimeric coloble receptor that bind Cody mad the add fabilities for temper represents to Eddgradess autigent," aggs Albar, shekeets 1992, est the		Part of the second seco	-	
	abstract				
			· Decement		
			mil I constituted there earl or require it under 1		
		1	· Opposite the same of the sam		
			· Omenantarion and a second		
		1	, O <sub>2</sub>	*	
			* Character Spring Control of Con		
ı	1		Branch or French		

\*\*\*\*

5 9102052

## Die beer der Dr. gereef beelg anneher reteing in the galent distanceds abortor the above-specifiest bestellt anneh. Die gerebeel are de neutroef is die General Faunt Offen (COT die de 17)41/47

First broard shorts samp open	Production	Parameter management		
EP-A- 032526Z	26-07-69	#-Y- W-4-	3281889 3502283 8506690	11-08-69 30-05-51 27-07-69
VO-A- 8569220	05-30-89	AU-A- EP-A-	3539419 9411031	16-10-89 05-02-91
40-A- 5004176	13-04-90	43-4- CF-4-	6343389 8436626	01-05-90 37-07-91

**②発明者 ヘベル,トーマス** 

ドイツ連邦共和国デーー2000, ハンブルグ 65, エメクスヴェー: